

# 市議会だより

## かしば

# 人・街・暮らし

No.132

■発行：香芝市議会 ■編集：香芝市議会だより編集委員会  
■連絡先：〒639-0292 香芝市本町1397 香芝市議会事務局 ☎77-8221



市内小学校議場見学

笑顔と元気!! 住むならかしば  
市制施行20周年記念

## 休日議会を開催

香芝市議会では、平成23年9月定例会中に「休日議会」を開催します。  
日時及び審査の内容は下記の通りです。

日 時	平成23年9月10日(土)～11日(日) 午前9時より
場 所	香芝市役所2階 大会議室
内 容	決算特別委員会(委員8名) 平成22年度香芝市一般会計決算審査

※どなたでも傍聴できますので、ぜひお越しください。

また、別の日に行われる本会議及び委員会についても傍聴できます。

9月定例会の日程は、14ページをご覧ください。

問合せ先 香芝市議会事務局 TEL77-8221

### おもな内容

- |                        |    |                        |        |
|------------------------|----|------------------------|--------|
| ●平成23年6月定例会の概要と結果…………… | 2P | ●一般質問……………             | 4P～13P |
| ●委員会付託議案……………          | 3P | ●平成23年9月定例会会期(予定)…………… | 14P    |
| ●議員活動状況……………           | 3P | ●議会日誌……………             | 14P    |

# 平成23年6月第3回定例会

平成23年第3回定例香芝市議会は、6月6日から21日までの16日間の会期で行われました。

本定例会では、理事者から提出された条例の一部改正や補正予算など13議案、また市議会議員提案による2議案について、慎重に審議いたしました。



## 審議結果

### 〈理事者提出議案〉

議案番号	議案	審議の結果（議長を除く）	
報 第 6 号	平成22年度香芝市一般会計繰越明許費繰越計算書の報告について	報告受理	
報 第 7 号	平成22年度香芝市介護保険特別会計繰越明許費繰越計算書の報告について	報告受理	
報 第 8 号	平成22年度香芝市下水道事業特別会計繰越明許費繰越計算書の報告について	報告受理	
報 第 9 号	権利の放棄の専決処分の報告について	報告受理	
報 第 10 号	損害賠償の額の決定の専決処分の報告について	報告受理	
承 第 4 号	平成23年度香芝市国民健康保険特別会計補正予算（第1号）の専決処分の報告及び承認について	原案承認（全会一致・出席17名）	
議 第 20 号	香芝市税条例の一部を改正することについて	原案可決（全会一致・出席17名）	
議 第 21 号	香芝市母子医療費助成条例の一部を改正することについて	原案可決（全会一致・出席17名）	
議 第 22 号	香芝市消防委員会条例を廃止することについて	原案可決	出席17名 賛成15名 反対2名
議 第 23 号	平成23年度香芝市一般会計補正予算（第1号）について	原案可決（全会一致・出席17名）	
同 第 2 号	香芝市教育委員会の委員の任命につき同意を求めることについて	原案同意（全会一致・出席17名）	
同 第 3 号	香芝市監査委員の選任につき同意を求めることについて	原案同意（全会一致・出席17名）	
同 第 4 号	香芝市固定資産評価審査委員会の委員の選任につき同意を求めることについて	原案同意（全会一致・出席17名）	

### 〈議員提出議案〉

議案番号	議案	提出者	議決の結果（議長を除く）
意見書第5号	公立学校施設及び避難所となるその他の公共施設における防災機能の整備を求める意見書	中山武彦	原案可決（全会一致・出席17名）
選 第 10 号 （追加議案）	奈良県後期高齢者医療広域連合議会議員選挙について	川田 裕	選 挙 川村家廣 16票・尾口五三 2票

### 委員会付託議案

総務財政委員会	議第20号、 議第23号
民生文教委員会	承第4号、 議第21号、 議第22号、 意見書第5号

主な議案内容と委員会審査の概要について (抜粋)

<p><b>議第20号 香芝市税条例の一部を改正することについて</b></p> <p><b>【議案内容】</b> 地方自治法の改正により、地方開発事業団が廃止されることに伴い、本条例における規定を削除するもの、及び、地方税法における東日本大震災に係る特例措置を規定するものである。</p> <p><b>【審査の概要】</b></p> <p>(質疑) 東北地方太平洋沖地震に対して、香芝市に籍があり東北地方に住んでいる住民税課税対象者、また東北地方に籍があり、香芝市での課税対象者は何人いるのか。</p> <p>(答弁) 香芝市住民税課税対象者が2名、固定資産税課税対象者が16名、また軽自動車税課税台数は7台分である。</p> <p><b>【全会一致で可決】</b></p>	<p><b>【審査の概要】</b></p> <p>(質疑) 震災時には消防団の必要性が高いので、消防委員会で様々な意見を聞くことは重要であると思うが、その点はどのように考えているのか。</p> <p>(答弁) 消防委員会は、消防団員の待遇改善等が主な目的であり、震災関係などは別の機関で協議を行いたい。</p> <p>(質疑) 香芝市防災計画の見直し等も行っていく中で、消防団の位置づけはどのように考えているのか。</p> <p>(答弁) 消防団は消火活動が主であったが、近年は災害時の救援や救護、避難活動、平常時は救急や火災予防の指導等があり、今後も消防団活動を活性化し、安心・安全なまちづくりに努めたい。</p> <p><b>【賛成多数で可決】</b></p>
<p><b>議第21号 香芝市母子医療費助成条例の一部を改正することについて</b></p> <p><b>【議案内容】</b> 医療費の助成対象者である母子家庭の母子等とそれに準ずる者に加え、父子家庭の父子等とそれに準ずる者についても助成対象とするものである。</p> <p>なお、改正内容に合わせて、題名についても「香芝市ひとり親家庭等医療費助成条例」とするものである。</p> <p><b>【審査の概要】</b></p> <p>(質疑) 所得制限については、どのように対応するのか。</p> <p>(答弁) 非常に財政が厳しい中で、所得制限などは見直しの必要があると考えており、今後、抜本的な検討を行い、所得制限が必要なものについては制限を設けるなど、今年12月には改正したい。</p> <p><b>【全会一致で可決】</b></p>	<p><b>意見書第5号 公立学校施設及び避難所となるその他の公共施設における防災機能の整備を求める意見書</b></p> <p><b>【要望内容】</b></p> <p>一、公立学校施設及び避難所となるその他の公共施設を対象として、今回の東日本大震災で明らかになった防災機能に関する諸課題について、阪神・淡路大震災や新潟県中越沖地震など過去の大規模災害時における事例も参考にしつつ、十分な検証を行うこと</p> <p>一、公立学校施設及び避難所となるその他の公共施設を対象として、備えるべき必要な防災機能の基準を作成するとともに、地方公共団体に対し、その周知徹底に努め、防災機能の整備向上を促すこと</p> <p>一、公立学校施設及び避難所となるその他の公共施設の防災機能向上に活用できる国の財政支援制度に関して、地方公共団体が利用しやすいようにすること</p> <p><b>【審査の概要】</b></p> <p>(質疑) 防災機能に関する諸課題とあるが、具体的にどういうことか。</p> <p>(答弁) 諸課題については、トイレをはじめ、建物の天井、電気・水道設備、また、室内環境では冷暖房の有無などがある。</p> <p><b>【全会一致で可決】</b></p>
<p><b>議第22号 香芝市消防委員会条例を廃止することについて</b></p> <p><b>【議案内容】</b> 市長の附属機関として発足し、消防行政の充実、強化に寄与してきたが、今日では国においても消防力の整備指針が示されるなど、委員会としての役目は終了しているものと考え廃止するものである。</p>	

議員活動状況 (平成21年4月～平成23年6月 ※質疑は平成23年3月まで)

議席番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	
氏名	池原道生	池田英子	堀川和行	中山武彦	川田裕裕	奥山隆俊	橋本元秀	森井常夫	中村良路	関義秀	下田昭	小西高吉	細井宏純	河杉博之	北川重信	芦高省五	黒松康至	長谷川翠	実施回数合計
質疑	120	390	84	523	1,736	142	135	91	345	151	533	245	154	549	33	317	101	117	5,766
一般質問	9	9	2	9	7	4	3	2	6	0	4	2	3	6	1	9	1	4	81
議員提出議案	発議	0	0	0	6	0	0	1	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	11
	意見書	0	0	0	5	2	0	0	0	0	1	0	0	4	0	1	0	0	13
	決議	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
請願書	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	2	0	0	5

※長谷川議員：平成21年4月～平成22年3月までの間は議長のため一般質問なし

※関議員：平成22年4月～平成23年3月までの間は議長のため一般質問なし

# 理事者が反問権、市議会初の行使

香芝市議会では、議員定数の削減や一問一答方式の導入、また理事者に反問権を与えるなど積極的な議会改革に取り組んでいます。

6月定例会の一般質問は、16日、17日に行い、理事者が初めて反問権を行使するなど(11頁参照)、より具体的な政策論議を行いました。

なお、12人の議員が市政全般にわたり、市の見解をただしました。その内容は、下記のとおりです。

(掲載は質問順)

## 〔反問権とは〕

議員の質問に対し、論点・争点を明確にするため、理事者が、議員に反問することが出来るものです。

反問権は、議会改革の一環であり、質問と答弁が準備された「なれ合い的な方式」からの脱却や、議会機能の強化並びに議員の資質の向上を図ることを目的としています。

## 一般質問 質問者・項目

- **池田英子**
  - 東日本大震災の教訓をふまえて防災計画について
  - 原発災害での放射能汚染について
  - 来年度から使用する中学校用の教科書の採択について
- **河杉博之**
  - 全ての市民が活々と生活の出来るまちづくりについて
- **下田昭**
  - 公園の利用率を高め、高齢者の健康増進と三世代交流ができる公園づくりについて
  - 市内公共施設・学校のトイレ整備について
- **中村良路**
  - 奈良西幹線工事の北今市地区について
- **長谷川翠**
  - 親しみのある図書事業のあり方について
  - 市民と行政との協働によるまちづくりについて
- **堀川和行**
  - 市職員の災害派遣に関する労働条件について
- **奥山隆俊**
  - ゴミの有料化について
  - 公共バスの今後の方向について
- **香芝市防災計画の現状と今後の見直しについて**
- **介護保険について**
- **中和幹線及び奈良西幹線について**
- **北川重信**
  - 都市計画について
- **芦高省五**
  - 香芝市総合スポーツ公園建設計画は見直しすべきである
  - 公共バスについて
  - 土地開発公社に関して
- **池原道生**
  - 香芝市防災対策に関して
  - 学校グラウンドの芝生化について
- **森井常夫**
  - 本市のこれからの学校教育について
  - 香芝市の地震防災対策について
- **中山武彦**
  - 災害に強いまちづくりについて
  - 駅周辺道路の混雑解消について

※詳細は、香芝市議会のホームページに掲載予定です。

<http://www.gijokku.net/city.kashiba/>



池田 英子 議員

▼東日本大震災の教訓をふまえて防災計画について

(問) どのように地域防災計画の見直しを行ったか。また、地震ハザードマップで液状化の可能性のある範囲を示されているが、その対策はあるのか。

〔市民生活部長〕 地域防災計画の見直しは、現在、市内に作業部会を設置して作業を進めている。また、地盤の液状化は国でも対策基準がないため、地震ハザードマップで液状化の可能性のある範囲を示して、市民に周知している。

(問) 洪水ハザードマップで、碎石流警戒区域や急斜面地崩壊警戒区域が見られるが、この対策はどうか。

〔市民生活部長〕 奈良県では土砂災害警戒区域の調査が終了し、現在、区域指定を進めている。市では、その区域指定を受けて土砂災害ハザードマップの作成を行い、急傾斜地の崩壊等のおそれのある区域の市民に周知を行いたい。

(問) 自主防災組織の避難訓練の実施は、どのように計画しているのか。  
〔市民生活部長〕 自主防災組織の平常時の活動として、避難訓練や防災訓練を定期的に行っている。ただ、訓練を定期的に行っているだけでは、引き続き支援をしたい。

(問) 現在の避難場所の耐震性はどうか。

〔市民生活部長〕 避難所に指定している屋内運動場は、小学校で70%、中学校で50%が耐震化している。その他の要援護者対応避難場所についても耐震化はされている。

(問) 応急仮設住宅の建設予定地は、どこになるのか。

〔市民生活部長〕 健民グラウンド、観正山近隣公園、高塚公園、高山台グラウンドを候補地としている。今後は総合スポーツ公園用地や農地等を活用し、候補地の拡充に努めたい。

(問) 災害弱者に対する避難支援計画は、どのようにしているのか。

〔市民生活部長〕 平成22年度に災害時要援護者支援計画を策定して、支援希望者を調査している。現在は、災害時における要援護者の避難支援体制の整備を進めている。

▼原発災害での放射能汚染について

(問) 福井県で原発事故が起こった場合、保育所・幼稚園・小学校に線量計を置くべきだと思うがいかがか。

〔危機管理監〕 現在、放射線の測定は県の保健環境センターで行っており、もし、若狭湾付近で原発事故が起これば県と連携した措置をとる。

(問) 太陽光を利用した自然エネルギーへの転換はどうか。

〔危機管理監〕 現在、香芝北中学校や市役所会議室棟に太陽光発電パネルを設置している。しかし、屋根の補強や設置費用の関係もあり、今は一定の条件が整えば可能と考える。



▲会議室棟の屋上に設置した太陽光発電パネル

▼来年度から使用する中学校用の教科書の採択について

(問) 市民が展示会場で教科書を見て、その意見や感想は反映しているのか。

〔教育部長〕 展示会場には意見箱を設置し、来場者の意見や感想は香芝市教科用図書選定委員会に報告している。

(問) 教科書の採択では、現場の先生の意見は反映しているのか。

〔教育部長〕 教科書選定にあたっては、教育委員会が十分な見識を有する教員から調査員を任命し、選定委員会が調査員の報告をもとに審議し選定を行っている。

(問) 調査員の人数は何人か。また学校ごとに選出されているのか。

〔教育部長〕 調査員は、各中学校の教員数を考慮して各教科に2名、社会科は4名の合計で22名を選出している。

河杉 博之 議員

▼全ての市民が活々と生活の出来るまちづくりについて

(問) 高齢者が元気で生き生きとしていたために、生きがい対策はどのように進めているのか。

〔保健福祉部長〕 転倒骨折予防教室、筋力向上訓練、水浴訓練教室、認知症予防教室等の介護予防事業を開催して、筋力や運動機能の向上、生活習慣や生活環境の改善を図る支援をしている。

(問) どのような形で、香芝市らしい生きがい対策に取り組んでいるのか。



▲介護予防の水浴訓練教室

〔保健福祉部長〕 高齢者が持つ豊かな技術や知識、経験等をいかすため、シルバー人材センターの活動支援、老人クラブのゲートボールやグラウンドゴルフ、水中運動事業等に助成し、活発に活動いただくよう施策を進めている。

(問) 自治会や老人クラブ単位での生きがい対策の進め方は、どのようにされているのか。

〔保健福祉部長〕 介護予防事業のほか、社会福祉協議会と連携して地

域における組織づくりを進め、現在、13地区で福祉活動を行っている。また、老人クラブには補助金を出して活動を支援している。

〔問〕地域で自主的に活動されている具体的な事例はあるのか。

〔保健福祉部長〕老人会では、カラオケや吹き矢教室、誕生日会や金婚式の祝い等をされている。

〔問〕高齢者が家に閉じこもらないように、外出しやすい環境づくりについてはどうか。

〔保健福祉部長〕現在は介護保健事業を中心に行っているが、元気な高齢者づくりという点からも、様々なボランティアの育成にも力を入れていきたい。

〔問〕奈良県のひだまり広場事業について、市はどのような形で活用されるのか。

〔保健福祉部長〕これは今年度限りの県補助事業で、現在、市として利用方法を検討しているところである。

〔問〕生きがい対策の情報交換として、地域の老人クラブや自治会と行政は横の連携はあるのか。

〔保健福祉部長〕社会福祉協議会では、人と人のつながりや助け合える環境づくりをめざして、各自治会に地域福祉委員会の設置を進めている。

また、ひとり暮らし老人や障害者世帯で支援が必要な方には配食サービス等を行い、生きがい交流の場であるいきいきサロン事業等を行っている。

〔問〕バリアフリー基本構想の策定にあたり、高齢者や障害者にわかりやすい施設の案内表示やサインボードの検討はされているのか。

〔企画部次長〕公共施設の案内表示については、高齢者や障害者が目的地までスムーズに行けるように、ユニバーサルデザインや心のバリアフリーにも対応をしたい。

〔問〕様々な形でバリアフリーを構築していく中で、一つの基準となるような考え方はあるのか。

〔企画部次長〕職員の親切丁寧な対応はもとより、絵記号や写真等を使用し、障害者の方にもわかりやすい工夫をしたい。

〔問〕心のバリアフリーに考慮して基本構想を構築していただけるのか。

〔都市建設部長〕バリアフリー基本構想の策定については、昨年度より関係所管課で構想内容に基づく研修を重ねている。

今年度は、学識経験者や障害者団体、関係機関の参画をいただいて策定協議会を創設し、基本構想づくりまで進みたい。

下田 昭 議員

▼公園の利用率を高め、高齢者の健康増進と三世代交流ができる公園づくりについて

〔問〕市内の公園には、どのような遊具が設置されているのか。

〔都市建設部長〕大規模な公園は、多くの方に利用していただけるよう汎用性のあるものを設置し、小規模な各自治会の街区公園は、幼児の遊具等を設置している。

〔問〕公園に高齢者が使いやすい器具を設置する場合、地域の声を聞いていただきたいがどうか。

〔都市建設部長〕街区公園については、各自治会に草刈りや遊具の点検をお願いしている。今後、遊具や設備の更新にあたっては、地域の方や自治会の意見集約に努めたい。

〔問〕公園にストレッチができる介護器具を設置した場合、どのようなことが考えられるか。

〔保健福祉部次長〕現在、設置していないので予想は難しいが、器具を使った筋力向上トレーニングでは、血圧が下がった、筋力がついたと



▲西真美にある街区公園

いった効果があると期待できる。

〔問〕三世代が楽しめる地域の公園づくりはどうか。

〔保健福祉部次長〕地域で高齢者が元気に外出できる環境づくりは、非常に大切である。

〔問〕市の高齢化率は低いと思うが、高齢者の保険給付の現状はどうか。また、全国平均から見ればどのような数値か。

〔保健福祉部次長〕市の高齢化率は約17%で、平成22年度の決算見込みでは約27億7千万円の給付費がかかると予想している。前年度と比べて約1億4千万円、5.3%の伸びである。また、国の高齢化率の平均は約23%で、本市の給付費に換算すると約37億円となる。

〔問〕高齢者の保険給付率は急激に上がっているが、今後どのような考えに重点を置くのか。

〔保健福祉部次長〕75歳以上では急に介護給付費が上がり財政を逼迫してくるので、年齢別の状況を見据えて長期的に介護保険の財政を考えた

い。

〔問〕市内公共施設・学校のトイレ整備について

〔問〕公園のトイレの掃除はどうしているのか。

〔都市建設部長〕トイレを設置している公園は市内に7カ所あり、今池

親水公園は毎日点検掃除を行っている。他の公園については、シルバー人材センターに委託して週1回の掃除を行っている。

〔問〕トイレを掃除するときのマニュアルはあるのか。

〔都市建設部長〕トイレ掃除の委託時に、掃除していただく程度について指示を出している。

〔問〕学校のトイレ掃除では、全校で統一のマニュアルはあるのか。

〔教育部長〕掃除マニュアルは大半の学校で備え付けており、各学校において独自で作成している。

〔問〕トイレを気持ちよく使えるよう整理整頓やおいの問題を、先生方にも考慮していただきたいと思うがどうか。

〔教育部長〕学校活動の中での掃除は、特別活動の一環として重要と認識している。今年8月には教育委員会主催で、小・中学校の教職員を対象に掃除セミナーを開催するので、これを契機に学校全体として取り組んでいきたい。

〔問〕快適なトイレの環境整備について、保護者にもお願いをされたらどうか。

〔教育部長〕学級指導や保健指導を行うとともに、保健だよりや学級懇談会等を通じて協力を求めている。

中村 良路 議員

▼奈良西幹線工事の北今市地区について

〔問〕奈良西幹線の開通に伴う工事の完成予定日はいつごろか。

〔都市建設部長〕現在、半分程度の区間が完了し、完成予定は平成24年中と見込んでいる。また、中和幹線が平成23年度末に供用を予定しているので、一部市道を利用し暫定で供用開始をしたい。

〔問〕磯壁北今市線との接続により、予想される通行量と排気ガスや騒音の影響はどの程度か。

〔都市建設部長〕計画交通量は1日あたり1万3千3百台を見込んでおり、延長区間についても環境基準値はクリアしている。



▲工事が進む奈良西幹線

〔問〕地元祭事などで、奈良西幹線を通行できるのか。

また、日常に横断される人の通行

予測はどうか。

〔都市建設部長〕祭事では、香芝警察署との協議は必要であるが、道路を渡るのは可能との回答である。また、人の通行量の具体的な数字はないが、東西に往来される対策として中央部分に道路を集約している。

〔問〕奈良西幹線と市道の交差点に、信号機を設置する件はどうか。

〔都市建設部長〕地元協議の中でも必要性を認識し要望しているが、警察としては交通量や交差点の形状等、総合的に判断した結果、信号機の設置は難しいとの回答である。

〔問〕新設道路には通行条件とか手続、また信号機の設置については要綱や要件基準はあるのか。

〔都市建設部長〕手続として道路認定及び供用告知が必要で、警察協議を行った上で供用となる。信号機のを要綱や基準は、特にないと聞いている。

〔問〕信号機の設置の件は、これまでどのように協議されたのか。

〔都市建設部長〕直近の要望を含め4回協議を行い、信号設置の交差点形状や通行量、利用状況を検討した。

〔問〕信号機の設置のために、市道を拡幅したことについて。

〔都市建設部長〕土木サイドが、地元要望を受けた中での計画と考える。また、信号設置については、警察協議の中で必要性を説いて取り組んでいきたい。

〔問〕これまで市の信号機の設置要望は、何カ所か。また、県の設置数は。

〔都市建設部長〕市の要望として18カ所、県の信号設置は年間10件程度しか採択されない現状である。

〔問〕信号機の設置について、市長はどのように要望していくのか。

〔市長〕磯壁北今市線や奈良西幹線は市の重要な路線であり、従来からも香芝警察署を通じて信号機の設置要望を行っている。

今後の全体供用には、安全対策として少なくとも1箇所は信号機を設置するように要望していきたい。

〔問〕児童・生徒の通学時に、コミュニティセンターあたりの区間の歩道は使用できないのか。

〔教育部長〕工事管理者の高田土木事務所に通学路として使用の申し入れを行ったが、工事期間中で安全確保ができないので通行は認められないという回答であった。

したがって、供用開始までは、現在の通学路で対応したい。

〔問〕中和幹線も含めて、付近3路線完成後の児童の通学路はどのように考えているのか。

〔教育部長〕中和幹線は平成24年3月末に供用開始が予定され、奈良西幹線と磯壁北今市線が接続する中和幹線の側道交差点に、信号機と横断歩道が整備される予定である。

また、中和幹線に沿って建設されている歩道橋も通行できるので安全に通学できると考える。



長谷川 翠 議員

▼親しみのある図書事業のあり方について

〔問〕市民図書館の事業内容と利用状況はどうか。

〔教育部長〕主な事業は図書選書、貸出や予約、リクエストの受付や読書相談等で、更にお話会や読み聞かせも行っている。平成22年度の貸出数は約60万冊で、DVD等の視聴覚資料は減少傾向にある。一方、パソコン・携帯電話等から約2万6千件の予約やリクエストがあった。

〔問〕市民図書館の今後の課題と事業計画はどのようになっていくのか。

〔教育部長〕多くの方に香芝の魅力を知ってもらおう地域資料の整備や情報発信、また保育所等への巡回文庫や幼稚園での絵本講座を充実させ、市民ニーズに対応した親しみのある図書館運営をめざしたい。

〔問〕学校図書室の活用状況と今後の充実方法はいかがか。

〔教育部長〕小学校では昼休みや休み時間に図書室を開放し、中学校では放課後にも開放している学校がある。今後、学校図書館を学校教育の中核的な役割を担う場として充実させていきたい。

〔問〕朝の10分間読書運動の現況と課題はどうか。

〔教育部長〕朝読は、小・中学校の全校で実施している。小学校のアンケート調査では、本をよく読むようになった、本がおもしろいと思うようになったと感じる児童が半数以上となっている。

また、子どもたちの集中力の向上にも効果を上げていて、引き続き朝読を積極的に推進していきたい。

〔問〕ブックスタート事業の現況と今後の考えはいかがか。

〔保健福祉部長〕現在は、4カ月健診時に笑顔で赤ちゃんに話しかけ絵本1冊を手渡している。今後、今までのブックスタート事業の検証を行っていきたい。

〔問〕ブックスタート事業の認識が低下しているように思うがどうか。



▲健診時に絵本を手渡すブックスタート事業

〔保健福祉部長〕絵本は、内容や表現がわかりやすく、長く見られるという点などを考慮して、選考委員会で選定している。今後は、冊数等についても検討していきたい。

▼市民と行政との協働によるまちづくりについて

〔問〕現在の進捗状況と具体的な推進計画はいかがか。

進捗画はいかがか。

〔市民生活部長〕ふれあいフェスタや冬彩等のイベントを中心に、市民の方には実行委員として参加をいただいている。現在は推進計画の策定には至っていないが、今後は市民を中心としたまちづくり推進計画の策定に取り組んでいきたい。

〔問〕今後の市民協働のまちづくりの進め方はどうか。

〔副市長〕総合計画や地域福祉計画の策定時にも市民の方には参加をいただいている。今後は一日も早くまちづくり推進計画を立ち上げたい。

〔問〕自治会や各団体の要望はどのように対応しているのか。

〔市民生活部長〕市民協働課に要望があった場合は、職員が関係部署へ内容を説明し、担当者間で協議を行っている。

〔問〕市民からの直接要望はどのように対応しているのか。

〔企画部次長〕電話やメール、窓口へ来られた場合は、担当課を明確にして、できる限り早く回答するように努めている。

〔問〕今後、総合相談や要望窓口の設置についての考えはどうか。

〔企画部次長〕総合相談窓口の設置の考えはなく、機構改革を含めて市民にとってわかりやすく利用しやすい行政をめざしたい。

堀川 和行 議員

▼市職員の災害派遣に関する労働条件について

〔問〕東日本大震災において、捜索活動や給水活動で災害派遣を行っているが、危険手当が正当に支給されているのか。

〔企画部長〕条例には、風水害やその他災害が発生した場合等には、特殊勤務手当の定めはあるが、今回は、危険手当に相当するような活動は行っていない。また、本市には危険手当の規定はない。ただし、交通費、宿泊費、日当等は条例に基づいて支給している。

〔問〕消防職員と市職員を派遣しているが、実績額はいくらか。

〔企画部長〕市職員は、給水支援活動に14名を派遣し、32日間で燃料費を含めて239万3,657円。保健師は1名を派遣し、6日間で6万1,306円である。また、建物被害判定には2名を派遣し、34万3,600円を支給する予定である。なお、消防職員は香芝・広陵消防組合ということで実績は差し控える。

〔問〕派遣職員の労働管理は行われているのか。また、残業手当は支給されているのか。

〔企画部長〕健康状況等の把握を密にするため、派遣職員から所属長に



1日3〜4回の報告をさせている。帰着後は、時間外手当や休日勤務等の処理も行っている。

▼ゴミの有料化について

(問) ゴミの有料化の方向性はあるのか。

〔市民生活部次長〕減量への意識改革を進めるため、ゴミの減量推進懇話会を設置し、ゴミの有料化は排出抑制や受益者負担の公平化等の利点があると提言をいただいている。

しかし、景気低迷や社会的弱者に対する配慮等の検討が必要というところで、今後は懇話会での内容を見定めて検討していきたい。

(問) 自主財源の確保も含め、有料化が必要ではないかと思うが、いかがか。

〔市民生活部次長〕有料化する場合は、指定袋等の販売手数料は必要経費に充てられる。有料化については社会情勢やゴミ量の動向を検討し、導入の是非や時期も含めて判断したい。

〔市長〕現状を考えると有料化は当然必要である」と認識している。

しかし、

美濃園は、香芝・王寺環境施設組合



▲香芝・王寺環境施設組合が運営する美濃園

で運営しているということもあり、香芝市と王寺町ができるだけ歩調をあわせて取り組んでいきたい。

▼公共バスの今後の方向について

(問) 公共バスの運行については、路線及びその形態について中和幹線完成後に見直すと、これまで数人の議員の一般質問で答弁されているが、その方向で進んでいるのか。

〔市民生活部長〕平成22年10月に地域公共交通活性化協議会を設置し、市内全体の公共交通の見直しを行うため協議を行っている。

今年3月には市民アンケートも行い、今後は協議会で基本的な計画を策定し、将来の公共交通のあり方を検討したい。

(問) 受益者負担という利用料をとる方向と、高齢者の利便性を考えて1日定額で自由な停留所の乗り降りや、買い物のためのスーパー前の停留所の新設の検討はいかがか。

〔市民生活部長〕市民の福祉ニーズも多様化しており、これに対応した公共交通を充実させて、高齢者の健康増進にも寄与したい。

(問) 道路の狭い集落の通行を考え、小型バスの導入はいかがか。

〔市民生活部長〕路線の見直しやバスの有料化、バス停での自由乗降、更にはデマンドバス交通の導入等についても協議会で検討したい。

奥山 隆俊 議員

▼香芝市防災計画の現状と今後の見直しについて

(問) 災害時における避難所の想定、使用施設及び学校の耐震化の整備状況と今後の進め方はどうか。

〔市民生活部長〕総合福祉センターや特別養護老人ホームは、高齢者や身体障害者等の災害時要援護者に対応するよう整備したい。今後は、老人福祉施設や各自治会等の協力を得て避難所の拡充をはかりたい。

〔教育部長〕学校施設の耐震化率は、平成22年度末で幼稚園50%・小学校79.2%・中学校75%、全体で73.3%である。今後、幼稚園園舎、小・中学校の屋内運動場を優先し、平成27年度の耐震化100%をめざしたい。

(問) 災害時における情報収集、伝達体制はどうか。

〔市民生活部長〕災害対策本部を設置して情報収集や通信体制を確保している。災害情報や気象情報は地上回線や衛生回線を活用しており、今後インターネット等も検討したい。

(問) 市の行政機能組織が壊滅的な打撃を受けたときは、どのような行動をとるのか。

〔危機管理監〕最悪の状況では人の力で動かしかならないと思うが、このよ

うな場合に備え、自主防災組織で助け合えるような訓練が必要である。

(問) 災害時における民間団体等の協力体制をとっているのか。

〔市民生活部長〕現在は、市商工会・市内郵便局・香芝地区のコンビニ・飲料水会社と、物資調達や被災者情報提供の協定を締結している。

また、市内建設業者とは災害復旧等の協力体制を構築している。

(問) 医療関係についての協力体制はどうか。

〔市民生活部長〕今後、医師会との医療救護や運送会社との物資輸送の体制を構築し、民間事業者の専門的な技術や知識を活用したい。

▼介護保険について

(問) 地域包括支援センターの役割と取り組みはどうか。

〔保健福祉部次長〕保健・医療・福祉等のサービスを、必要に応じて提供している。主な業務は、介護予防のケアマネジメントや相談、判断能力を欠く方の権利擁護等である。

(問) 地域福祉計画では校区別高齢化率の地域格差が大きいが、サービスの均一化に支障はないのか。

〔保健福祉部次長〕校区により高齢化率の差異はあるが、市民の利便性を考慮し、市内4カ所に24時間対応できる在宅介護支援センターを設置している。

▼中和幹線及び奈良西幹線について  
 (問) 磯壁北今市線と中和幹線の供用開始時期は、いつごろか。  
 (都市建設部長) 磯壁北今市線と中和幹線の副道は、平成23年7月12日から供用開始を予定している。中和幹線は平成23年度末の完成をめざして取り組んでいる。  
 (問) 逢坂公民館東交差点での通勤通学時の交通量の軽減対策について考えはあるのか。  
 (都市建設部長) 磯壁北今市線と中和幹線の副道の供用、また、中和幹線と奈良西幹線の供用により、交差点への負担が軽減されると考える。  
 (問) 逢坂工区、せいか幼稚園付近の側道処理はどうするのか。  
 (都市建設部長) 安全性を考慮して警察とも協議を行ったが、せいか幼稚園前のT字路での施工はできないものと考えている。  
 (問) 国道168号線拡幅部分の事業は、どこから工事を進めるのか。  
 (都市建設部長) 事業区間は西名阪自動車道付近から竹田川付近で、中でも志都美駅前線付近の早期完成を要望している。



▲平成23年度末に完成予定の中和幹線

北川 重信 議員

▼都市計画について

(問) 現在、事業を実施している街路整備は、奈良県施行を含めて何カ所あるのか。  
 (都市建設部長) 市が施工しているのは、中和幹線・尼寺関屋線・五カ所五位堂線・志都美駅前線・志都美駅歩行者専用道路の5路線で、国・県は奈良西幹線及び高田バイパス線の2路線である。  
 (問) これらの整備路線の完了と供用開始は、いつになるのか。  
 (都市建設部長) 中和幹線は、平成23年度末の竣工をめざしている。尼寺関屋線は、白鳳台から美濃園の交差点まで完了し、その西側区間はスポーツ公園事業と連携をはかり実施したい。五位堂駅前北第二地区画整理事業区域内の五カ所五位堂線は、平成26年度末の竣工を予定している。志都美駅前線・志都美駅歩行者専用道路は、平成23年12月末の竣工をめざしている。また、奈良西幹線は、平成24年度内の竣工予定で、高田バイパス線は、国道165号線の整備にあわせた事業となる。  
 (問) 市の計画路線と総延長はいくらか。また、整備中の事業が完了したら延長はいくらになるのか。  
 (都市建設部長) 高田バイパス線や

奈良西幹線を含め、29路線で延長は56 kmである。整備済み延長が23・6 kmで整備率は42%、現在施工中の奈良西幹線6・2 kmを含めると29・8 kmとなり整備率は約53%となる。  
 (問) 事業の完了後は、交通渋滞の解消はできるのか。  
 (都市建設部長) 事業の完了後は、中和幹線や奈良西幹線の渋滞は緩和されると思うが、ほかの都市計画道路の接続なくしては渋滞の解消には至らないと考える。  
 (問) 現在の街路整備を完了したときは、新たな街路整備に取り組むのか。  
 (都市建設部長) 現在、事業中の路線の完了めどがついた後、計画路線の優先度や整備効果等を考慮して整備したい。  
 (問) 国道165号線バイパス、県道香芝太子線、中和幹線の3路線が集まる穴虫峠から大阪府柏原市までの整備はどうか。  
 (都市建設部長) 国道165号線香芝・柏原間は、4車線化に向けて測量費が予算化された。今後、中和幹線の穴虫・桜井



▲国道165号線と中和幹線の合流地点

間が全線供用されると、高田バイパス線との合流点で渋滞が予想される。現在、中和幹線連絡協議会を立ち上げて渋滞対策を検討し、国に対し拡幅事業の早期完成を要望している。  
 (問) 街路整備について、国の事業費の配分状況はどうか。  
 (都市建設部長) 3月11日以降、国の所管から補助金5%カットの通達があり、事業の優先度等を考慮し対応している。  
 (問) 市内で危険な踏切は、何カ所あるのか。  
 (都市建設部長) JR和歌山線、近鉄大阪線及び南大阪線の3路線に交差する踏切は51カ所である。地元の要望箇所は、JR五位堂駅西側の踏切、近鉄南大阪線の畑公民館横の踏切と二上山駅西側の踏切である。  
 (問) 危険な踏切の改良は、どう考えているのか。  
 (都市建設部長) JR五位堂駅西側の踏切は、平成22年から拡幅事業を実施している。近鉄南大阪線の畑公民館横の踏切と二上山駅西側の踏切は、近鉄と協議を行っている。  
 (問) 近鉄線との立体交差による危険踏切の解消はどうか。  
 (都市建設部長) このような事業は、財源的に大きな費用が伴うので、通行量や利用度、地元要望も踏まえて計画的に取り組みたい。



芦高 省五 議員

▼香芝市総合スポーツ公園建設計画は見直しすべきである

〔問〕 スポーツ公園を建設するという姿勢が見えてこないが、抜本的に再検討をする考えはないのか。

〔都市建設部長〕 事業費は、当初計画よりも少なくなってきたが、現在は権利者の方々と交渉を重ねて用地買収を進めている。

〔問〕 自然が残る里山を生かし、市民が森林浴や散策を楽しめる自然歩道、子どもや高齢者が利用できる多目的広場、小川のある森林公園を作ってはどうか。

〔都市建設部長〕 多目的広場やテニスコート等の周辺には、景観を損なわないための自然林や遊歩道、水に親しめる施設も想定している。今後、設備内容等については検討した上で、継続してスポーツ公園事業を実施したい。

〔問〕 民間委託の推進や指定管理者制度への移行を進めているが、民間委託や指定管理者による経営については、どのように考えているのか。

〔都市建設部長〕 指定管理者制度については、工事が竣工するまでに取り組んでいきたい。

〔問〕 スポーツ公園用地の維持管理費はどうなっているのか。

〔都市建設部長〕 隣接農地への被害防止のため、昨年までは職員で草刈りをしてきたが、今年は維持管理費として予算計上を行った。

〔問〕 総合スポーツ公園が大規模災害時の避難地としての機能を発揮するには、接続するアクセス道路の建設が前提となるが、どのように考えているのか。

〔市長〕 現在、尼寺関屋線は美濃園との直結道路としても効果があり、そこから西側区間の道路については、スポーツ公園の進捗と併せて中で整備をしたい。

〔問〕 今は建設して突き進むときではないと思うが、巨費を投じて作るより、市民のためにやるべきことがあるのではないか。

〔市長〕 計画当初とは社会経済情勢も変わってきているので、当時の計画で進むのは問題があると認識している。将来的には必要な内容を見直した中で、特に健康づくりに重点を置いたスポーツ公園にしたいと考えている。

〔問〕 スポーツ公園の建設は見直す、断念するという方向にならないのか。

〔市長〕 現状の財政状況は厳しく、毎年度多額の投資をするのは無理があることから、当面はスポーツ公園の予算については抑えた中で事業の

進捗を図りたい。

▼公共バスについて

〔問〕 停留所を増やして、乗り降りが自由なバス運行はできないのか。

〔市民生活部長〕 自由乗降については市民ニーズも高いと認識しているが、



▲市民ニーズが高い公共バス

バスのある方を検討する地域公共交通活性化協議会で、自由乗降の問題点も含めて検討を行いたい。

▼土地開発公社に関して

〔問〕 土地開発公社をそのまま残しておく必要性について、どのように考えているのか。

〔総務部長・反問権〕 土地開発公社については、第三セクター改革推進債を利用して、現在は解散の方向で検討しており、国や県と協議を行っている。

ただ、斑鳩町のように徐々に財産を処分していく解散もあるが、議員さんはどのような方法で解散を考えられるのか。

〔芦高議員〕 第三セクター改革推進債方式であるうと、斑鳩方式であるうと、解散さえしてもらえれば結構である。

池原 道生 議員

▼香芝市防災対策に関して

〔問〕 水道インフラとして、基幹管路を含む現状の耐震対策の具体的な取り組みはどのように進めているのか。また、管路の耐震化率はどうか。

〔上下水道部長〕 水道施設及び庁舎の耐震診断等を実施し、平成21年度に今泉8,000トンタンクと庁舎、平成22年度には今泉4,000トンタンクの耐震補強工事を行った。本市の水道管の耐震化率は約13%で、重要施設に



▲耐震補強工事を行った水道タンク

連絡する管路から順次耐震化を進めていきたい。

〔問〕 市の上水道は奈良県営水道から100%供給されているが、災害時の水の確保について、県営水道に対して協議や要請はどのようにされたのか。

〔上下水道部長〕 県営水道については耐震簡易診断を実施され、埋設管路は地震による被害もほとんどないとの結果が出ており、災害時には全県民が5日間使用できる水の確保もしていただいている。また、県営水道の送水管から直接取水できる応急



給水栓設置協定も締結して、市内4箇所に応急給水栓を整備し、緊急時の水の確保をはかっている。

〔問〕地震時における停電や県営水道の供給停止を想定し、近隣都市との災害対策連絡管の整備は、どのような体制になっているのか。

〔上下水道部長〕北葛水道連絡協議会で、近隣市町で自己水を保有する葛城市・広陵町・王寺町に対し、災害対策連絡管の整備を提案して協議を重ねている。

▼学校グラウンドの芝生化について  
〔問〕小・中学生の体力低下問題に關してはどのように考えるか。

〔教育部長〕市内の小・中学校の平均は、多くの種目で奈良県の平均値を上回っているが、握力や柔軟性、ボール投げが弱点という課題がある。このような課題を見据え、各学校で体育等の指導に工夫を重ね体力の向上をめざすよう指導している。

〔問〕元気な大和っ子を育む学校表彰があるが、市内の小・中学校でなぜ受賞に至らなかったのか。

〔教育部長〕残念ながら十分な内容と判断されなかったと考えている。今年もこの表彰事業は実施されるので、各学校で子どもたちの体力向上プランを作成し、指導していきたい。

〔問〕震災被害後の一環として、学校グラウンドの芝生化をどう考える

か。

〔教育部長〕甚大な災害発生時には、学校グラウンドは一時避難地として位置づけ、避難が長期化した場合、グラウンドは搬入車両や仮設トイレ等のスペースとして利用されると考えている。

〔問〕学校グラウンドを芝生化して、地域の人たちのつながりを持ってもらうという考えはないか。

〔教育部長〕地域とのつながりを目的にグラウンドの芝生化を検討するには、地域を巻き込んだ十分な準備期間が必要である。

〔問〕学校グラウンドの芝生化モデル校について、どのように考えるか。  
〔教育部長〕グラウンドの芝生化モデル校を考えるのであれば、多くのモデル事業の明らか成果が証明されてから、導入についての適否を検討してもよいのではないかと考えている。

〔問〕グラウンドの芝生化に補助金を出す企業や団体は多く、芝生化での市の持ち出しは少ないと思うがいかがか。

〔教育部長〕財政面で懸念されるのは初期投資の費用ではなく、芝生の維持管理にかかる費用である。現在、教育委員会では最重点課題として、学校施設の耐震化や大規模改修等を優先すべき事業として取り組んでいる。

森井 常夫 議員

▼本市のこれからの学校教育について

〔問〕今年4月より小学校1年生は35人学級であるが、どれぐらいの学級増になったのか。また、来年度以降はどのような計画なのか。

〔教育部長〕5校の小学校で5学級の増となった。来年度以降は国の方針が定まっていないので、今後の動向を注視したい。

〔問〕全学校で順次35人学級が進んだら、どのようなシミュレーションとなるのか。

〔教育部長〕35人学級が年度ごとに学年を上って実施されると、小・中学校の全学年が35人学級となったとしても、平成30年ぐらいまでは現状で対応可能と見込んでいる。

〔問〕小学校では英語の指導ができる教員が配置されていないが、市の対応状況はいかがか。

〔教育部長〕今年度から小学校5・6年生で、外国語活動が年間35時間実施される。小学校の教員は英語指導の経験が少ないため、移行期間中から指導法や教材研修を進めて教員のスキルアップに取り組んでいる。

〔問〕A L Tの配置人数と授業の活用時間数はどれぐらいか。  
〔教育部長〕現在、A L Tについて

は4名を配置している。

小学校1年から4年生は年間10時間、5年・6年生は年間20時間で、幼稚園は各園1日4時間で年3回実施する計画である。

〔問〕英語教育では小学校と中学校との連携が必要と思うが、現在は話し合いや交流はされているのか。

〔教育部長〕小学校の外国語活動研究会と中学校の英語教育研究会が連携できるように、今後協議をしていきたい。

〔問〕連携教育推進協議会を立ち上げて活動をされているが、どのような取り組みをしているのか。

〔教育部長〕今年度は、幼・保の保育内容の均質化をはかり公開保育を実施する。幼・保での経験を小学校で生かせる教育課程のあり方を研究する。小・中の連携では生徒指導面の連携に取り組んでいく。以上の3点を考えている。

▼香芝市の地震防災対策について

〔問〕高台にある貯水タンクは、どれぐらいの耐震設計になっているのか。

〔上下水道部長〕今泉8, 000トンタンクと4, 000トンタンクは耐震補強工事を行い、マグニチュード7から8、震度7相当の地震に耐えられるものとなっている。また、畑配水場や高区配水場等の鋼製タンク

クは、簡易診断の結果、耐震性が概ね高いという判断をされている。

〔問〕高台にあるため池で、堤防決壊の恐れがあるところはないのか。

〔都市建設部次長〕高台にあるため池については、決壊の可能性は低いと考えている。今後、防災計画の見直しにあわせて安全面等の対応を

していきたい。

〔問〕ため池は利水利用から災害



▲高台にある旗尾池

防止目的に変化しているが、治水機能と防災機能を持った親水公園等にしているのか。

〔市長〕市街化の進展により、利水目的のため池の必要がなくなっていることもあり、防災機能の充実という観点から、公園と治水機能を持つため池として整備を行っていききたい。

〔問〕地震防災対策アクションプログラムの基本理念と減災目標を踏まえ、地震に強いまちづくりを進めていただきたいかがか。

〔市長〕災害に強い安心・安全のまちづくりのためにも、防災計画等の体制づくりや自主防災組織の充実をはかりたい。

中山 武彦 議員

▼災害に強いまちづくりについて

〔問〕公立学校施設など避難所の防災機能の向上については、どのように考えているのか。

〔教育部長〕これまでも地域防災の拠点として、浄化型プール、埋設型の仮設トイレ、緊急用の蓄電システム等、防災機能を備えた設備の整備に取り組んできた。今後も市の防災組織と連携し取り組んでいきたい。

〔問〕文部科学省が学校の防災機能を強化する方針を打ち出したが、市はどのように考えているのか。

〔教育部長〕学校施設に地域住民の安全も確保する機能を持たせ、緊急時の避難所となった場合を想定して整備すべきものと考えている。

〔問〕学校施設の利用方法等のガイドラインや災害マニュアルは作っているのか。

〔市民生活部長〕地域防災計画では、避難所の開設・災害対策本部との連絡・施設管理者との協力体制等を規定している。今後、地震防災対策アクションプログラムに従い、早期にマニュアル策定に取り組みたい。

〔問〕河川における防災機能の強化対策として、緊急用の河川敷道路の現状についてはどうか。

〔都市建設部次長〕都市計画マスター

プランには、緊急輸送道路として広域幹線道路と地域幹線道路はあるが、これらを補完する河川敷道路に該当する路線は、現在のところない。

〔問〕危機管理の情報システムとして、災害対策本部を設置した場合、その部屋に集中設備を設けるのか。

〔市民生活部長〕市域で震度5弱以上の地震が発生すれば、災害対策本部を設置することになる。本部には、国や県、関係機関との連絡に必要な衛星電話回線等の設備を確保する。

〔問〕被災者支援システムを導入しているかどうか。

〔企画部長〕このシステムの導入を検討したが、ランニングコスト等の関係から導入には至っていない。現在、基幹システムの共同化を進めており、共同利用ができるか検討をしている。

〔問〕災害情報ではメールが有効だと思うが、それを受信できるシステムはできないか。

〔企画部長〕情報伝達の手段としてメールは有効だが、災害時に特に登録者が集中する状況ではシステム化は難しい。

〔問〕災害時には首長の責任は最も重いが、今回の震災について市長の思いを聞かせていただきたい。

〔市長〕この大震災を教訓に、市の防災計画や地震防災対策アクションプログラムの整備と、行動計画に対

応して必要なものからすぐに実行していきたい。

▼駅周辺道路の混雑解消について

〔問〕鉄道利用者の増加に伴い、駅周辺道路の実態把握はどうなのか。

〔都市建設部次長〕近鉄五位堂駅や近鉄二上駅のロータリーは、通勤通学時や帰宅時に混雑している。夕方以降は、迎え待ちの車で混雑に拍車をかけている。

〔問〕駅を起点とした公共交通の運行、駅前での自由乗降は検討項目に入っているのか。



▲近鉄五位堂駅の北側ロータリー

〔市民生活部長〕公共バスは、市役所や総合福祉センターと各地域との交通手段で、通勤通学者の運行はしていない。また、地域公共交通活性化協議会でも住宅地と駅区間の利用計画は検討課題とはなっていない。

〔問〕駅周辺の基盤整備として、待避スペースやロータリー拡大の対策はとれないのか。

〔都市建設部次長〕近鉄五位堂駅前ロータリーは、混雑解消に向け関係機関と協議を重ねているがロータリーの拡大は難しい。近鉄二上駅ロータリーは、今後協議していきたい。

平成23年9月定例会会期(予定)

月	日(曜日)	会 議 名
9	5日(月)	本 会 議
	7日(水)	総 務 財 政 委 員 会
	8日(木)	民 生 文 教 委 員 会
	9日(金)	建 設 水 道 委 員 会
	10日(土)・11日(日)・12日(月)	決 算 特 別 委 員 会
	15日(木)・16日(金)	一 般 質 問
	22日(木)	本 会 議

※正式な会期・日程案は、8月23日の議会運営委員会で決定されます。(注：議会運営委員会で日程変更される場合があります。)

香芝市ホームページ <http://www.city.kashiba.lg.jp/>

議会の開会日、会議録(本会議・委員会)の閲覧や議員の紹介をご覧ください。

全国市議会議長会・奈良県市議会議長会より表彰

昨年、全国市議会議長会の理事並びに奈良県市議会議長会の会長として、会務運営の重責にあたられた関義秀議員に、両議長会からその使命達成に尽くされた功績に対して感謝状が贈られました。



なお、6月定例会において伝達式が行われました。

議会の傍聴に  
おいでください

傍聴を希望される方は、市役所5階議会事務局で、傍聴人受付簿に住所、氏名及び年齢を記入していただくと、傍聴することができます。

◆定員/議場44人/委員会室(委員長が別に定める)

※本会議の状況は、庁舎1階ロビーでもご覧になれます。



平成23年

議  
会  
日  
誌

- 6月
  - 1日 香芝広陵消防組合臨時会
  - 6日 本会議
  - 9日 総務財政委員会
  - 10日 民生文教委員会
  - 14日 全国市議会議長会
- 7月
  - 7日 香芝市健康づくり推進協議会
  - 12日 磯壁北今市線渡り初め
  - 14日 香芝市保健センター建設計画策定委員会
  - 28日 奈良県市議会議長会局長会
- 8月
  - 4日 葛城地区清掃事務組合議会
  - 5日 奈良県市議会議長会
  - 10日 香芝市都市計画審議会
  - 11日 香芝市国民健康保険運営協議会



▲磯壁北今市線



▲常任委員会の審査の様

編集後記

暦の上では、立秋を迎えましたが、いまだ残暑厳しい毎日です。秋の七草の一つに撫子(なごし)があります。昔、この辺りの堤や河原などにも河原撫子が咲いていました。

ナデシコといえは、今年の夏は、なでしこジャパンが女子ワールドカップで見事、世界一の栄冠を勝ち取り、感動された方も多いでしょう。特に、東日本大震災の被害とショックからまだ十分に立ち直れていない日本人に勇気と誇りをプレゼントしてくれました。

9月1日は防災の日です。東日本大震災を振り返り、家族で防災について考え、非常持出品の確認をされてはいかがでしょうか。

9月定例会は、平成22年度決算などを審査する議会です。市民の皆様の声を反映させるためにも、ひとりでも多く傍聴ください。ご意見等がありましたら、議会だより編集委員会(議会事務局内)までお寄せください。

〔問合せ〕TEL76-2001

議会だより編集委員会

- 委員長 小西 高吉
- 副委員長 中山 武彦
- 委員 黒松 康至
- 委員 芦高 省五
- 委員 下田 昭
- 委員 橋本 元
- 委員 奥山 隆俊